



# 堀船中だより

心身ともに健康にして、国際的視野に立って社会に貢献し、自立した人を育成する。

教育目標

自ら学び 自ら考え 自ら行動できる生徒

## <11月2日(月) 任命式が行われました。>

11月2日(月)、後期生徒会役員・各種委員会の任命式を行いました。先輩たちが残してくれたものをより充実させるべく、生徒会・各種専門委員会を引き継ぐ立場に立った2年生・1年生の真剣な姿を、とても頼もしく感じました。

生徒による自治活動をさらに発展させるために、堀中生全員が一丸となって協力していきましょう。

### ◎生徒会本部役員

- 【生徒会】2年 田村くん
- 【副会長】2年 須田さん
- 【副会長】2年 全さん
- 【役員】1年 菅野さん
- 1年 大塚くん
- 1年 相澤くん



### ◎2 学期専門委員会

- 【生活委員会委員長】2年 小坂さん
- 【体育委員会委員長】2年 村上くん
- 【美化委員会委員長】2年 稲葉くん
- 【保健給食委員会委員長】2年 加藤くん
- 【図書委員会委員長】2年 高橋くん
- 【放送委員会委員長】2年 長久保くん
- 【学級委員会委員長】1年 林さん
- 2年 池邊くん
- 3年 向田くん

堀船中をより良くしていくために、リーダーとして大いに活躍してくれることを期待しています。

## <11月20日(金) 薬物乱用防止教室を開催しました。>

11月20日(金) 14:00 より薬物乱用防止教室を体育館にて開催しました。

今回は、王子警察の方にお越しいただいて、薬物乱用の弊害や社会に与える危険性についてお話しいただきました。



## <表彰おめでとうございます。>

### 【薬物乱用防止標語】

地区会長賞 1年 小池さん  
「断ろう 勇気で変える 君の未来」

### 【薬物乱用防止ポスター】

王子地区特別賞 2年 伊勢田さん

### 【比べて読もう新聞コンクール】

日本経済新聞社賞 3年 松井さん  
『動画アプリを巡る米中の対立』

優秀賞 3年 石田さん

『小学校の教科担任制を』

奨励賞 3年 清水さん

『インターネットの安全性』

### 【税の作文】

東京都国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

2年 菱沼さん『「お互いさま」の税金』

北区納税貯蓄組合連合会佳作

2年 月脚さん『地域による税金の使われ方の違い』

### 【北区よい歯・お口の表彰】

3年 上間さん・小林さん

2年 高橋さん・新川くん

笠井くん・全さん・原さん

1年 小澤くん・関口さん・丸橋さん

### 【全国書画展覧会】

筆都大賞 3年 平野さん

特 選 3年 石田さん

## 渋沢栄一と神社

### 明治神宮

明治45年(1912)7月30日、明治天皇が亡くなると、栄一は東京市長(栄一翁の娘婿)ら民間有志たちと協議して、明治天皇の陵墓を造ろうと運動を起しましたが、陵墓は京都伏見(桃山)に内定していることが宮内省から公表されたため、有志の運動は、明治天皇を祭神とする神社建設にむけて舵をきることになりました。栄一は、明治神宮奉賛会の副会長として寄付金集めに奔走しました。明治神宮は内苑と外苑から成り、内苑は国費で造られ、外苑は栄一たちが中心になって寄付金を集めて造りました。現在も、神宮外苑の銀杏並木をくぐりぬけると、外苑の中心的な建物で、明治天皇と昭憲皇太后の事績を描いた歴史的・文化的にも貴重な絵画を展示している聖徳記念絵画館があります。付近には、神宮球場、東京オリンピック・パラリンピックが開催される新国立競技場などもあります。

明治神宮内苑は、都会の喧騒を忘れさせてくれる、うっそうとした森に覆われています。これは栄一ら明治神宮造営局の呼びかけに応じて全国から集まった約10万本の献木、そして11万人におよぶ全国からの青年団による勤労奉仕によってつくられた人工の森なのです。当時首相だった大隈重信は、伊勢神宮のような針葉樹林中心の荘厳な森にする構想をしていました。しかし栄一や専門の学者たちが、代々木の土地に最適な樹種の熟考を重ねた結果、カシやシイといった常緑広葉樹を中心とした森がつくられることになりました。第二次世界大戦では、東京中が空襲に見舞われ、明治神宮の社殿も焼け落ちました。そんな中、常緑広葉樹は火に強かったので、明治神宮の森は焼失を免れました。

本年、百年を迎えた明治神宮。歴史を学び先人たちの「思い」を知ってお参りに行くと、大切な様々な気づきを得ることができるかもしれません。

### 七社神社

北区西ヶ原にある七社神社は、江戸時代から旧西ヶ原村の鎮守で、栄一も同村内に飛鳥山邸を構えたことがきっかけに氏子になりました。大正9年には、栄一を中心に、寄付により社務所が作られました。この社務所は、栄一が支援した西ヶ原青年会の活動拠点となる「会堂」も兼ねて作られました。現在の社務所は、昭和42年に建て替えられたものです。栄一は、さらに本殿・拝殿の建築にも貢献しました。

現在でも、七社神社の拝殿を見あげると、神社の名前が書かれた社名額を目にすることができます。訪れた人を迎えるこの社名額の金字も、栄一が毛筆で書いた文字(揮毫)なのです。その他、栄一の書いた掛け軸も社内に納められています。

毎年9月秋分の日とその前日に行われる七社神社の例大祭で、そのもととなったと思われる栄一書「七社神社」掛け軸が、西ヶ原の町中に設けられる御神酒所に掛けられます。このことから、栄一は七社神社を中心に西ヶ原の人々と交流を深め、町の事業にもよく協力したことが窺えます。

私達が行く七社神社の祭礼や初詣、美しく紅葉した神宮外苑の銀杏並木や、新年の幸福を願う明治神宮にも、栄一の想いが息づいているのです。



上空から見た明治神宮 提供明治神宮



神宮外苑 提供 明治神宮



栄一揮毫社名額 提供 七社神社